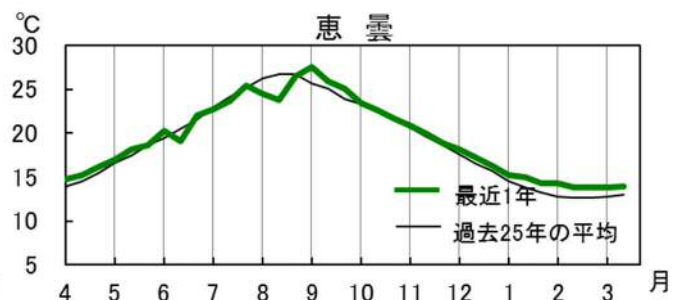
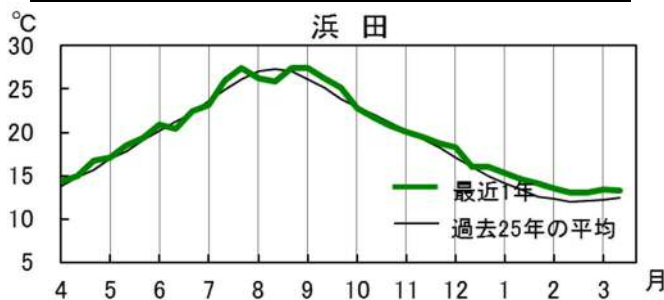




《2~3月の海況》

2月	月平均	平年差	評価
浜田	13.2℃	+1.1℃	かなり高め
恵曇	14.0℃	+1.2℃	はなはだ高め

沿岸定地水温は、浜田地区では、2月は上旬、中旬、下旬ともに「かなり高め」となり、3月に入り上旬時点で「はなはだ高め」で経過しています。恵曇地区では、2月上旬は「はなはだ高め」、中旬、下旬は「かなり高め」となり、3月に入り上旬時点で「はなはだ高め」で経過しています。



《2月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は41.9トンで平年並みとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は534トンで平年の1.3倍となりましたが、マアジは73トンで平年の4割に留まりました。隠岐地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は48.2トンで平年並みとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ウルメイワシが豊漁で423トンと平年の3倍となりました。一方で、昨年豊漁だったサバ類は1,990トンで平年の7割、マアジは1,825トンで平年の8割に留まりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は319kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は147kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、エソ類、ケンサキイカを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は13.5トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、キダイは平年の2.1倍、エソ類は平年の4.6倍、ケンサキイカは平年の4.2倍の水揚げでした。その他、アカムツは平年の4.2倍、カマスは平年の3.6倍の水揚げだった一方、ソウハチは平年の7割、マフグは平年の1割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではアカガレイ、ソウハチ、ヒレグロ主体の漁況で、総漁獲量は382トンで平年の1.2倍、1統1航海当たりの漁獲量は932kgで平年の1.2倍でした。魚種別の動向(総漁獲量)は、アカガレイは平年の1.6倍、ソウハチはほぼ平年並み、ヒレグロは平年の8割でした。また、ニギスが平年の1.5倍、アンコウが平年の1.2倍、アカムツが平年の2倍、アナゴ類が平年の3.5倍と好調でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではヤリイカ、ブリ、マアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は6.0トンで平年の3割でした。魚種別の動向(総漁獲量)は、ヤリイカは平年の6割の漁獲量でした。石見地区ではサワラ類、スズキ、ヤリイカ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は4.3トンで平年の4割でした。魚種別の動向(総漁獲量)は、サワラ類は平年の5.7倍の漁獲量でした。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は27.7トンで平年の1.7倍でした。魚種別の動向(総漁獲量)は、スルメイカは平年の1.6倍の漁獲量でした。

【釣・縄】

出雲地区ではブリが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は37kgで平年並みでした。石見地区ではサワラ類、アマダイ、ブリが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は25kgで平年並みでした。隠岐地区ではスルメイカが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は31kgで平年並みでした。

【平成 31 年 2 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類	629 トン	92%	107%	41.9 トン	61%	94%	○
	隠岐	サバ類、マアジ	4,627 トン	51%	80%	48.2 トン	55%	75%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ、ケンサキイカ	20 トン	156%	15%	319kg	76%	39%	▲
	西郷	スルメイカ	7.6 トン	1025%	777%	147kg	197%	66%	○
沖合 底びき網	浜田	キダイ、エソ類、ケンサキイカ	283 トン	74%	89%	13.5 トン	77%	99%	○
小型 底びき網	大田	アカガレイ、ソウハチ、ヒレグロ	382 トン	108%	124%	932kg	112%	116%	◎
定置網 (大型)	出雲	ヤリイカ、ブリ、マアジ	54 トン	33%	43%	6.0 トン	30%	35%	▲
	石見	サワラ類、スズキ、ヤリイカ	17 トン	39%	57%	4.3 トン	29%	38%	▲
	隠岐	スルメイカ	55 トン	289%	142%	27.7 トン	289%	176%	◎
釣り・縄	出雲	ブリ	39 トン	88%	77%	37kg	69%	71%	▲
	石見	サワラ類、アマダイ、ブリ	23 トン	57%	84%	25kg	58%	84%	○
	隠岐	スルメイカ	20 トン	171%	162%	31kg	117%	102%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。

イカ釣り（5 トン以上）の浜田、西郷地区における前年の漁獲はほとんどなかったため、前年比は省略。